

平成 24 年度「乳の社会文化」学術研究実施要領

1. 趣旨

「乳の社会文化ネットワーク」（以下「社会文化 NT」という）は、社団法人日本酪農乳業協会（以下「Jミルク」という）と共同して、「乳の社会文化価値」に係る学術研究を、研究者ないし研究グループ（大学院生を含む。以下「研究者等」という）に対し、研究者を指名し又は広く公募し、委託して行うものとし、その実施についてはこの要領で定めるところにより行うものとする。

2. 研究の種類

研究は、社会文化 NT が特定の研究者等にテーマを指定して実施する指名委託研究及び研究テーマを広く公募して実施する公募委託研究とする。

3. 研究のテーマ

委託する研究のテーマは次の通りとする。

(1) 指名委託研究

以下のテーマから 4 件程度について研究者等を指名して委託する。

テーマ	内 容
牛乳飲用習慣の形成に関する要因分析	牛乳価値の世代的年齢的特徴や継承される価値、価値継承の過程などの、牛乳飲用習慣の形成に関する要因分析
牛乳の栄養経済性の計測	牛乳栄養を経済的に評価
和食と乳の融合 (その食文化的意義の検証)	食における異なった文化の統合の意義を評価するとともに、和食時に牛乳飲用を忌避する意識や行動を意味付ける
我が国酪農乳業の産業的発展に係る構造分析	日本の乳マーケット及び酪農乳業が世界に類を見ないスピードで拡大し発展した背景を分析し、日本の特徴を解明
学校給食における牛乳利用の歴史的評価	戦後における日本人の牛乳飲用の制度的文化的背景として位置づけられている学校給食牛乳の役割について、多面的総合的に分析
乳をめぐるリスクコミュニケーションの現実と課題	BSE、口蹄疫、放射性物質汚染などの最近における多様な疾病や災害に係る酪農乳業界のリスクマネジメント及びリスクコミュニケーションの取り組みについて、評価し、その課題を探る。

(2) 公募委託研究

以下のテーマから4件程度を公募して研究者等に委託する。

テーマ	内 容
乳及び酪農乳業に係る社会的文化的視点からの研究	わが国における牛乳乳製品に係る食文化的意義（その特徴や課題）、日本人の食生活の歴史的変化との係わり、並びに、わが国の酪農乳業産業の社会学的経済学的な意義（その特徴と課題）などについての研究（これらの研究にとって有意義な他の国や民族との比較研究を含む）。
指名研究テーマに関連したり補強したりするための研究	

3. 委託の要件

- ① 国内外に未発表の研究であること。
- ② 外部への研究発表に際しては、事前に社会文化NTに連絡するとともに、社会文化NT及びJミルクの学術研究支援を受けたことを明らかにすること。
- ③ 研究については、「乳の社会文化」学術研究審査委員会（以下、「審査委員会」という）に報告書を提出し、評価を受けること。
- ④ 研究成果の全部もしくは一部を刊行し、または発表する場合は、その刊行物または別刷の1部を添付して、社会文化NT及びJミルクに報告すること。

4. 委託金額

年間一件当たり原則として100万円以内とする。

5. 委託契約の締結

社会文化NT及びJミルク並びに研究者等は、別に定める委託研究契約書により、契約を締結する。

6. 委託費の支出基準

委託費の支出基準は、次のとおりとする。

- 資料費 : 研究用図書等の資料購入費
- 賃借料 : カメラ、計算機等の賃借料
- 賃 金 : 研究補助員、調査補助員等に対する賃金
- 会議費 : 調査、打ち合わせ等に係る会議費
- 謝金等 : 調査、打ち合わせ等に係る謝金及び礼金等
- 旅 費 : 調査、打ち合わせ等に係る旅費とし、実費により支出するもの。
なお、国内外を問わず、単なる学会出席のための旅費、参加費は対象外とする。
- 通信運搬費 : 郵便料、振込手数料等
- 印刷費 : 報告書作成等に係る印刷、製本費
- 投稿料 : 研究成果の学会誌発表のための投稿料（受理された場合に限る。）

上記以外の経費項目

: 具体的な内容の項目を記載し、それぞれの経費の金額を記載すること。

7. 委託研究期間

同一調査・研究課題に対する委託期間は、原則として1年を超えないものとする。

ただし、研究の成果により、さらに研究の継続が必要な場合には、選考委員会の審査を経て、研究の継続を認めることができる。

なお、具体的な委託研究期間は、委託研究契約書に明記される。

8. 申請手続き

別紙の平成24年度「乳の社会文化」指名委託（公募）研究計画（申請）書の定めるところによる。

本実施要領末尾に記載の事務局まで、郵送等により送付すること。

なお、申請書の電子データを希望する場合の問い合わせ先も事務局とする。

9. 申請締切日

平成24年9月10日（月）必着とする。

10. 選考方法

「乳の社会文化」学術研究審査委員会が、必要に応じて各分野の専門家の意見を参考とし、審議決定する。

審査委員会

委員長	生源寺 眞一
副委員長	和仁 皓明
委員	江原 絢子
	小長谷 有紀
	細野 明義
	大江 靖雄

11. 決定通知

採否の結果は、平成24年9月下旬に通知する。

12. 委託費の交付

委託費の支払は委託事業が完了し、その額が確定した後に行うものとする。

ただし、研究者等からの請求に基づき委託費の概算払いをすることができる。

13. 調査・研究成果公表

社会文化 NT 及び J ミルクは、提出のあった調査・研究成果を取りまとめ、報告書を作成し公表する。

14. 報告書等の提出

研究者等は、別に定める期日までに調査・研究報告書（A4サイズ、文字方向横書き、3万字程

度) 及び事業収支報告書を、委託研究期間の終了後 60 日以内に提出する。なお、調査・研究報告書の構成、引用文献リスト及び表・図の記載法について改めて連絡する。

社会文化 NT 及び J ミルクは次年度以降の当該研究者研究の新規採択、研究継続の可否または委託費の算定にあたって選考委員会の審議結果を参考にする。

なお、調査・研究を中止する場合、委託費の使途が不相当とみられる場合または既に交付した委託費に残額が生じた場合は委託費の一部または全部の返還を請求することがある。

15. 経理の区分整理

当該研究に係る経理については、他と区別し、その内容を明らかにした帳簿を備え収入支出の額を記載する。また、これらに関する証拠書類を整備保管する。その期間は完了した年度の翌年度から起算して5年間とする。

<事務局>

〒104-0045

東京都中央区築地4丁目7番1号

築地三井ビル5階

社団法人 日本酪農乳業協会 内

「乳の社会文化ネットワーク」事務局

担当：豊澤誠一郎

電話 03-6226-6352

FAX 03-6226-6354

E-mail: s-toyosawa@j-milk.jp

(別紙様式1)

平成24年度「乳の社会文化」指名委託研究計画書

提出日 平成24年 月 日

1. 研究代表者氏名

所属研究機関名 役職名

所属研究機関所在地 〒

Tel Fax
E-mail

自宅所在地 〒

Tel Fax

調査・研究形態： 個人 ・ 共同 (該当する方に○を付して下さい)

研究代表者の略歴

2. 研究課題

3. 研究目的及び内容 (1,500字程度)

注：以下の内容を盛り込むこと

- ① 調査・研究の計画及び方法。
- ② 国内外における先行研究の状況（自己の研究も含む）及び関連文献。
- ③ 本調査・研究の特徴点と意義
- ④ その他特記すべき事項（過年度に同様のテーマで応募している場合は、これまでの成果と今回の調査・研究内容について比較、整理して記入する）。
- ⑤ 外部への研究発表予定（有りの場合は、学会、専門誌等の名称を記入する）。

4. 調査・研究期間

平成24年10月 ～ 平成 年 月

5. 支出計画

総額 千円

項 目	金額（千円）	備 考
合 計		

(注) 備考欄に経費積算を記載のこと。

6. 調査・研究責任者の調査・研究業績目録

(過去3ヵ年間の調査・研究業績を記入する)。

(別紙様式2)

平成24年度「乳の社会文化」公募委託研究申請書

提出日 平成24年 月 日

1. 研究代表者氏名

所属研究機関名 役職名

所属研究機関所在地 〒

Tel Fax
E-mail

自宅所在地 〒

Tel Fax

調査・研究形態： 個人 ・ 共同 (該当する方に○を付して下さい)

研究代表者の略歴

2. 研究課題

3. 研究目的及び内容 (1,500字程度)

注：以下の内容を盛り込むこと

- ① 調査・研究の計画及び方法。
- ② 国内外における先行研究の状況（自己の研究も含む）及び関連文献。
- ③ 本調査・研究の特徴点と意義
- ④ その他特記すべき事項（過年度に同様のテーマで応募している場合は、これまでの成果と今回の調査・研究内容について比較、整理して記入する）。
- ⑤ 外部への研究発表予定（有りの場合は、学会、専門誌等の名称を記入する）。

4. 調査・研究期間

平成24年10月 ～ 平成 年 月

5. 支出計画

総額 千円

項 目	金 額 (千 円)	備 考
合 計		

(注) 備考欄に経費積算を記載のこと。

6. 調査・研究責任者の調査・研究業績目録

(過去3ヵ年間の調査・研究業績を記入する)。